

予防と訓練で安全に

早水組 安全衛生大会

【網走発】御早水組（網走、津田忠吉社長）は10日、網走市内のオホーツク・文化交流センターで安全衛生大会を開催した。津田社長は「写真は「安全が第一優先」を掲げ、予防と訓練の重要性を再認識して、こ



津田社長は、建設業界が時間外労働の上限規制や担い手不足など、外部環境の変革期を迎えている中で「安全

に引き合う意識を変えてはならない」と強調。「安全が第一優先」を掲げ「予防と訓練の重要性を再認識して、一連の安全活動に対する確認する、連絡する、報告するといったコミュニケーションを向上、実践し、ヒューマンエラーの防止に努めることを、こ

ることも「働きやすい環境を整え、作業場全体が安全な環境に変化していくよう、皆さんの協力のもと、健康管理、衛生管理を進めながら、無事故・無災害で仕事を終えたい」とした。安全表彰のあと、労働安全ならびに交通安全決意宣誓、講話、講演を実施。参加者は安全に関する知識や意識を共有・向上し、無事故・無災害でことし1年を過ごすことをあらためて決意した。

また「常に安全第一の精神を尊重し、一人ひとりが安全に対する知識、配慮、警戒心を持つことにより、不安定状態、不安全行動、怠りといったことがないようお願いします」と要請す